

国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッソ / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアクトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



BE THE INSPIRATION



第766回例会6月4日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：小林昭次 龍谷義行 ■点鐘：鷲津有一 ■週報：村木則予
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」
- ゲスト：RI 第 2620 地区 米山学友会理事 上野佳子様
米山記念奨学生 サイ ピョー ミエン マオさん

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 50 名 出席率 66.7%
前々回出席率 85.33%

- ① 鷲津有一 ②小田木基行
- ③ パワーの歯医者 ④米山記念部会
(小澤、伊藤、中野敬、土屋)

会長挨拶



おはようございます。
上野佳子（よしこ）さん、早朝よりお越し頂きありがとうございます。後ほどの卓話、楽しみにしています。さて、先週の水曜日、浜

松ハーモニー R C 主催で行われた視覚障がい者映画鑑賞例会に堀内さん・小川さんと参加しました。上映された作品は、昨年 11 月 10 日に公開された「イーちゃんの白い杖」という映画です。内容は、生まれつき全盲の小長谷唯織（こながやいおり）さんと一人では何もできない重度の障がいを抱えた 2 歳下の弟、伊吹さんを 20 年にわたり取材した、テレビ静岡のドキュメンタリー番組を映画化したものです。108 分の映画でしたが、イーちゃん家族の絆・明るさ・人としての強さに圧倒され、アツという間にエンディングを迎えました。私がイーちゃんだったら、イーちゃんの父親だったら、イーちゃんの祖父だったらと思うと、とても真似のできるのではなく、小長谷家の人々の日常に心の底から感服しました。イーちゃんは、あんま・マッサージ・指圧師の免許を持ち、今年 3 月同じく全盲の横田さんと結婚し、今はともに焼津市の「おおとみりウマチ整形外科」に勤務しています。自立に対し、悩めるイーちゃんの背中を押したのは、去年卓話を頂い

た N P O 法人六星・ウイズ代表の斯波代表の言葉でした。今月以降も各地で自主上映会が予定されていますので、ぜひご鑑賞ください。

新会員紹介



この度入会した柳田高廣です。地元は広島県福山、瀬戸内海の出身です。現在、58 歳。勤務する東海東京証券では 58 歳の支店長は最高年齢です。9 年間ほど福岡の銀行に行き、そこで証券の立ち上げをやり、もう一度現場の支店長になりました。支店では 23 名の社員がいます。3 分の 2 は若い社員です。明るい店を目指し、浜松の人の役に立てる証券会社でありたいと思っています。趣味でサックスを習っていて、土曜日はカラオケで一人サックスやっています。是非サックスやっている人いたら声をかけてください。よろしくお願ひします。

議 事

米山記念部会
「米山学友会 創立 10 周年を振り返って」
米山学友会理事 上野佳子様



2620 地区米山学友会は 2009 年 3 月に創立され、今年 3 月に 10 周年を迎えました。3 月 3 日(日)に、米山梅吉記念館で「創立 10 周年記念式典」を開催しました。ロータリー米山記念奨学会の齋藤直美理事長をはじめ、当地区役員や他地区の米山学友会長の皆様を来賓としてお迎え、セレモニーのほか、スリランカの民族舞踊とモンゴルの馬頭琴演奏など、国際色豊かな催しとなり、米山奨学委員会メンバーと奨学生など総勢 110 名が集いました。

そもそも、2007-08 年度当時、全国でこの 2620 地区の他に、青森と山形と 3 つの地区だけに「米山学友会」がなかったのです。そこで、2008-09 年度地区米山記念奨学委員長小野毅さん（三島 RC）は、前任者の渡邊富夫さん（長泉 RC）と協議し、当時の牧田静二ガバナー、勝山國太郎 PDG（米山記念奨学会評議員）らとともに準備委員会を立ち上げました。そして、2009 年 3 月 1 日、静岡市のクーポール会館にて創立総会が開催されました。

ロータリー米山記念奨学会の板橋敏雄理事長が招かれ、米山記念奨学事業の将来展望と学友会組織の重要性について講演されました。一番重要な案件の「事務局の固定化」ですが、坂本豊美 PDG のご提案で「米山梅吉記念館内に事務局の設置」が実現。これは「鬼に金棒」で中国風に言えば、まさに「虎に

翼」でした。お陰様で 2009 年 7 月の第 1 期通常総会は米山梅吉記念館にて開催することができました。

＜学友会活動の充実への道＞

学友会の発足以来、学友会の活動を活発化させるため、社会奉仕、学友同士やロータリアンとの親睦交流などを重視して、地区や地元のロータリークラブの行事に参加したり、また自主企画でも地域奉仕イベントなどを行いました。具体例としては河川や海岸の清掃作業、東北被災地支援、ポリオ撲滅募金活動への協力、そして地元のロータリークラブの行事にも参加させて頂きました。

2620 地区は広域にわたりますので、地域を静岡県西部、中東部、山梨県の 3 つに分けて、それぞれ親睦交流会を開催するなど、様々な工夫をしてみました。これらの工夫により、少しずつですが、正会員やイベント参加者数が年々増えています。

国際親善にも力を入れてきました。外国の子どもたちへの教育支援として、まず、2012-13 年度から 3 年間、日本の NPO を通じて、タイの貧困地域の生徒に就学支援を試み、この経験は、のちのスリランカ支援に繋がっていきます。

今年度の取り組みとして、「モンゴルの子どもたちに夢の絵本を贈ろう」という企画をしました。こちらでも、現地で購入する教科書などに使う資金を募金し、絵本などを 500 冊以上集め、5 月にモンゴルへ発送しました。7 月下旬ウランバートルで開催される「世界米山学友大会」に合わせて、現地で贈呈式を行う予定です。

これまでの 10 年間の歩みを振り返ると、ロータリアンの皆様のご指導とご支援で活動を充実させることができました。当学友会の活動を「ロータリー友」や米山記念奨学会のフェイスブック、「よねやまハイライト」などで何度も取り上げていただきました。

これからもロータリーの奉仕の心を胸に米山の輪を広げて、2620 地区学友会の活動に積極に取り組んでまいりたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます